

2020年度【美作大学】教員免許状更新講習 講座一覧

必・選	講習の名称	取り扱う事項	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講人数	障害者の配慮の対応状況
							学校種	免許職種、教科等	職務経験等			
必修	教育の最新事情	①国の教育政策や世界の教育の動向、②教員としての子ども観、教育観等についての省察、③子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)、④子どもの生活の変化を踏まえた課題、以上に関する最新の話題、研究成果についての講習を実施する。	教育相談(アンガーマネジメント・カウンセリングなど)に関する最新の話題、研究成果についての講習を行う。	中野 和光(大学院教授) 藤根 雅之(生活科学部講師) 妻藤 真彦(大学院教授) 渡邊 淳一(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月21日	特定しない	特定しない	特定しない	6,000円	150人	相談に応じ対応予定
選択必修	教育相談(アンガーマネジメント・カウンセリング)	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	教育相談(アンガーマネジメント・カウンセリングなど)に関する最新の話題、研究成果についての講習を行う。	渡邊 淳一(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月19日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	30人	相談に応じ対応予定
	学校における危機管理などに対する組織的対応	様々な問題に対する組織的対応の必要性 学校における危機管理上の課題	①様々な問題に対する組織的対応の必要性 ②学校における危機管理上の課題 以上に関する最新の話題・研究成果についての講習を実施する。	佐々木 勇(生活科学部准教授)	6時間	令和2年8月19日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	相談に応じ対応予定
	学習指導要領の改訂の動向、法令改正及び国の審議会の状況	学習指導要領の改訂の動向等 法令改正及び国の審議会の状況等	①学習指導要領の改訂の動向 ②法令改正及び国の審議会の状況 以上に関する最新の話題、研究成果についての講習を行う。	中野 和光(大学院教授)	6時間	令和2年8月19日	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	相談に応じ対応予定
選択	食品の美味しさを科学する	食品の美味しさについて科学の視点から解説します。特に「うま味」「コク」とは何かを一緒に考えてみたいと思います。また巷に渦巻く様々な健康素材についてのウソ、ホントについても独自の視点から解説します。		納庄 康晴(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月24日	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	6,000円	40人	相談に応じ対応予定
	食品の美味しさを科学する	食品の美味しさについて科学の視点から解説します。特に「うま味」「コク」とは何かを一緒に考えてみたいと思います。また巷に渦巻く様々な健康素材についてのウソ、ホントについても独自の視点から解説します。		納庄 康晴(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月18日	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	6,000円	40人	相談に応じ対応予定
	遊びの楽しさをもとにした造形活動	幼児の造形活動について、様々な実践事例をもとに、遊びの要素や学びとの関連性を視点として考察する。また、教育現場で広く用いられるパスや絵の具、その他身近な素材を活用して、幼児が主体的に表現する楽しい造形活動のあり方について、実技やグループ活動を通して体験的に学ぶ。		中田 稔(短期大学部教授)	6時間	令和2年8月18日	教諭	幼稚園教諭	特定しない	6,000円	24人	相談に応じ対応予定
	遊びの楽しさをもとにした造形活動	幼児の造形活動について、様々な実践事例をもとに、遊びの要素や学びとの関連性を視点として考察する。また、教育現場で広く用いられるパスや絵の具、その他身近な素材を活用して、幼児が主体的に表現する楽しい造形活動のあり方について、実技やグループ活動を通して体験的に学ぶ。		中田 稔(短期大学部教授)	6時間	令和2年8月24日	教諭	幼稚園教諭	特定しない	6,000円	24人	相談に応じ対応予定
	発達障害の理解と支援	広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害、知的障害などの発達障害の行動的、認知的特徴を学習する。発達障害の心理的評価法を学び、それに基づく様々な療育プログラムの概要について捉え、効果的な支援とはどのようなものであるのかを修得する。		安田 純(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月20日	教諭 養護教諭	全教諭、養護教諭	特定しない	6,000円	120人	相談に応じ対応予定
	給食献立を教材とした食に関する指導	幼児・児童・生徒の食生活の現状を分析し、給食献立を教材とした食に関する指導のあり方や具体的な実践方法等を検討する。また、栄養教諭が担任や養護教諭と協力し、家庭や地域と連携しながら、給食時間や教科等の時間における食に関する指導の実践化に向けての事例紹介等を交えながら指導のあり方を考察する(一部グループワークも含む)。		森本 恭子(生活科学部准教授)	6時間	令和2年8月20日	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	6,000円	50人	相談に応じ対応予定
	食育の理論とその応用	肥満、過度の痩身や生活習慣病など食生活に起因する問題が多くなっている。食生活を含めた人の行動を変容させるためには、行動科学の理論を取り入れることが効果的であることが知られている。しかし、多くの行動科学の理論のなかから、子どもたちのもつ問題や状態に応じた適切な理論を選択する必要がある。そこで、行動科学に関する基礎的理論を理解し、それらの理論に基づいた具体的な実践事例から効果的な食育について考える。		土海 一美(生活科学部准教授)	6時間	令和2年8月24日	養護教諭 栄養教諭	養護教諭、栄養教諭	特定しない	6,000円	50人	相談に応じ対応予定
日本語との違いから学ぶ英語	本講座では、日本語と英語の類似点や相違点に焦点を当て、日本語と英語の特徴を浮き彫りにし、言語教育の実践に活かすヒントを探る。はじめに英語と日本語の簡単な歴史や言語使用の状況を紹介する。その後、学習者の誤用も参考にしながら、発音、語彙、文法、表現パターン、コミュニケーションの方略に関していくつか項目を取り上げる。本講座は、「言語教育」一般に資する観点から、英語担当教諭以外も対象とする。		桐生 和幸(生活科学部教授)	6時間	令和2年8月18日	教諭	幼稚園教諭、 小学校教諭、 中学校・高等学校 学校国語科・ 英語科教諭	特定しない	6,000円	100人	相談に応じ対応予定	